

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ
「オ2、オ3の81.3決戦闘争の実現」をめざす
強靱な新執行体制と方針を確立

オ6回定期大会
速報 オ2日目

あらゆる反動をうち破り、右翼的労戦統一粉碎、反合三里塚闘争貫徹へ、全員が活動家となって闘おう！



第6回動労千葉定期大会
81.3決戦闘争を勝ちぬいた動労千葉は、今「一皮むけた」強靱な組合として再前進する。

10月9日と10日の2日間にわたって開催された動労千葉オ6回定期大会は、81.3ジェット決戦闘争を勝利してきた地平を堅持し、今秋三里塚二期強行着工阻止・国鉄35万人体制攻撃粉碎・右翼的労戦「統一」粉碎・動労「本部」革マル反動分子の告訴路線「動労の警察労働運動化阻止」「動労大改革」へむけての、更に固い意志一致をかちとった。

そして、熱のこもった討論を通して、三〇〇組合員全員が活動家となって闘う方針を満場一致確立すると同時に、80年代ますます激化する情勢をつき破って、オ2、オ3の3月決戦闘争を闘える、したたかたで強力な動労千葉の闘争体制・新執行体制を確立し、成功裡のうちに閉会した。

熱心な討論で、運動方針予算を満場一致採択

大会オ2日目は、9時より「一九八一年度予算案」の提案が水野財政部長よりなされたのち、オ一日目に提案されていた「一九八一年度運動方針(案)」に対する討論に入った。

討論は、この一年間の豊富な体験を踏えた教訓にあふれたもので、発言者数、課題も例年になく活性化されたものであった。発言者は勝浦・成田・新小岩・事務分科・津田沼・蘇我・幕張・千葉転・木更津・幕張書・新小岩等からなされ、課題も「犠牲規則の改正」「年金補償」「職員配置」「高齢者対策」「新採獲得での教訓」「新組合員教育」「小組の建設」「勝浦転勤問題」「支援基金運動」「35万人体制合理化と各職場取組の将

来展望」「本部革マルの合理化協カ」「動労千葉の反合三里塚闘争路線」「赤字行革論との対決」「5610の成果教訓」「貨物合理化と小名木」「木更津への電車仕業問題」「除草」「オニマル生攻撃」「佐倉の事務一欠について」「帰任者獲得」「本部役員名簿の教訓」「軍事大団化攻撃と反戦の誓としての三里塚闘争」「81.3闘争の意義」「6.12デモツナ上げ告訴と闘って」「三里

二期闘争と10.11総結集について」「動労大改革」「右翼労戦統一粉碎」「三里塚を闘う労働運動論について」等々と多岐に渡り、本部からのまとめをうけ、「運動方針」予算を満場一致決定。

この日東賓として三里塚石橋副委員長、支援委員浅田世彦、奥西より永井、加辺氏、清井弁護士から挨拶をうけた。役員改選諸決議等を終り、ガクローをもって15時30分終了。

一九八一年度本部役員名簿

役職名	氏名	年	職名	支部
執行委員長	岡川 宰	55	検査係	成田
執行副委員長	山口 敏雄	44	電運士	千葉転
書記長	水野 正美	44	電運士	勝浦
執行委員	中野 洋	42	電運士	千葉転
〃	西森 徹	41	電運士	千葉転
〃	布施 守一	39	電運士	千葉転
〃	片岡 一博	39	電運士	津田沼
〃	吉岡 正明	38	電運士	津田沼
〃	庄司 功	48	電運士	津田沼
〃	小幡 重三	40	機関士	館山
〃	高石 正博	36	電運士	蘇我
会計監査員				津田沼